

田原福祉専門学校を指定管理者などが行うことを検討しているか

愛知県や東三河広域連合の参画を含め、検討していく



大竹 正章
自民クラブ

田原福祉専門学校のあり方について

- 問** 市内介護人材の不足実数を、どの程度見込んでいるのか。
- 答** 毎年、介護福祉士が20~30名、介護職が10~20名必要と予測している。
- 問** 介護福祉士養成校として運営を続けることは、今後困難ということか。
- 答** 介護福祉士に限らず、人材の養成は必要である。
- 問** 介護福祉士に限らない人材とはどのようなものか。
- 答** 運動、リハビリ、栄養など総合的な視野で介護支援に従事できる人材を考えている。
- 問** 市が検討している看護学科創設について、まずは看護師養成の修学奨励金を活用していく考えはないのか。
- 答** 奨学金制度の必要性を検討したい。
- 問** 訪問看護を視野に入れ、少子化時代に看護師を確保するため、スリーピングナース（※）の掘り起こしに力を入れてはどうか。
- 答** 渥美病院などでも確保に努めているが、有効な手段はなかなか見つからない。

- 問** 地域介護人材を輩出するために外国人を受け入れてはどうか。
- 答** 外国人の受け入れは地域介護人材確保の手法の1つ。公立校として、介護福祉士資格を取得し、在留資格を得て定着してくれる外国人の受け入れを目指したい。
- 問** 介護の専門分野に特化した日本語指導教員の配置が必要ではないか。
- 答** 国家試験合格のためなどを考えると、課題であり、検討している。
- 問** 民間活力導入という観点から田原福祉専門学校の指定管理者制度導入などは検討しているのか。
- 答** 民間にという部分は少し疑問を感じるが、公立的な学校運営が可能な愛知県や東三河広域連合の参画を含めて、検討していきたい。

（※）看護師資格を持ちながら、様々な理由で、現在看護師として就業していない方

問 答

低濃度エタノールによる土壌消毒のメリットは。
既存の消毒薬に比べ、格段に人体への影響が少ないことに加え、消毒後の農地に残留物が無い。適切な管理をすることにより、3年ほど消毒効果が得られる。

問 答

農業場面における具体的な利活用は。
農業環境変動研究センターが技術を有する、低濃度エタノールを利用した土壌還元作用による土壌消毒として、利活用を想定している。

問 答

道路メンテナンスにおけるPFI事業の内容は。
道路などを維持管理する際に発生する刈り草などからエタノールを製造し、農地などでの消毒用資材として供給するもの。

道路メンテナンスのPFI事業（※）について

PFI事業化に向けた今後のスケジュールは
PFI事業として事業化の可能性があれば、事業実施方針を策定し、事業実施と
なっていく



仲谷 政弘
自民クラブ